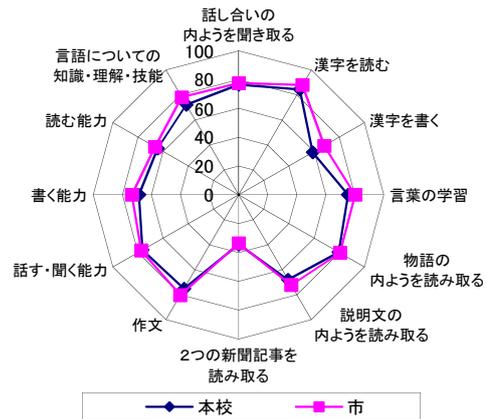


# 宇都宮市立宝木小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	76.4	77.4
	漢字を読む	84.4	87.9
	漢字を書く	58.9	68.1
	言葉の学習	75.2	80.2
	物語の内ようを読み取る	79.5	80.6
	説明文の内ようを読み取る	68.0	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	34.4	33.5
	作文	75.1	80.3
観点別	話す・聞く能力	76.4	77.4
	書く能力	68.6	73.4
	読む能力	64.4	66.4
	言語についての知識・理解・技能	72.2	78.2



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・話し手の意図や司会者の工夫を考えながら、話の内容を聞きとることは概ねできており、正答率も市平均を上回っている。しかし、話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を記述する問題では、正答率が低い。	・「話すこと聞くこと」の単元では、述べられている事柄を正確につかむことができたか確認をしながら学習を進めていく。 ・各教科の授業や日常生活において、話し手の意図を意識して聞きながら、自分の意見を持ち話すことができるように支援していく。
漢字	・5学年の漢字の読みの正答率は高いが、4学年の漢字の読み、書きの正答率は低い。	・漢字スキルなどで新出漢字を指導し、家庭学習でも漢字練習を繰り返させるようにする。小テストで覚えられたかを確認しながら定着を図るようにする。誤字は、正しく覚えられるようにすぐに指導していく。また、前学年までの習った漢字についても繰り返し練習していく。 ・授業の作文や行事での振り返り、ノートの記入などでも、既習の漢字を使い、日常生活において漢字を使う意識を育てていく。
言葉の学習	・「接続語」や「ことわざ」とも市平均を下回る正答率だった。「文脈に沿って漢字を適切に使う」問題では、正答率が低く、市平均を下回っている。	・文章を読む際には、前後の文章のつながりを考えながら読み取っていくよう支援する。また、国語辞典を使い、意味の分からない漢字や言葉はいつでも調べさせるようにする。 ・新出漢字を覚えたり、漢字の復習をしたりする際には、熟語に目を向けさせ、文章の中で適切に漢字が使えるようにさせる。
物語の内ようを読み取る	・「登場人物の様子を読み取る」の正答率は、市平均を上回っているが、「登場人物の心情を読み取る」の正答率が低い。	・物語文の学習では、ていねいに読み進めて情景や登場人物の心情を読み取るようにさせる。 ・読書の時間を確保し、読書活動を通して、本と親しむ習慣を作り、文学的な文章に親しませる機会を増やす。
説明文の内ようを読み取る	・平均正答率は、市平均を下回っている。 ・「文脈に即した内容理解」、「文章全体の内容理解」、「文章全体を理解し、まとめること」の正答率が低い。また、「段落と段落の関係」の正答率が特に低く、約5割程度である。	・説明文の学習では、形式段落ごとに繰り返し読むことで書かれている内容を捉えさせる。また、重要だと思う文や言葉に気づかせ、接続詞などを手がかりに段落と段落の関係を考えさせる。さらに、文章全体の構成を考え、筆者の意図をきちんと読み取らせるようにする。
2つの新聞記事を読み取る	・「二つの文章の共通点の読み取り」の正答率は、市平均を下回ったが、「二つの文章の相違点を読み取り、まとめる」の正答率については、市平均を上回った。	・新聞記事や説明文など、文章を比較して読む際には、共通点と相違点に着目させながら読ませるようにする。また、キーワードとなる言葉に線を引かせたり、自分の考えと比較しながら読み取ったりさせる。 ・新聞記事を紹介し、新聞に親しむ機会を増やしていきたい。
作文	・指定された長さで文章を書くことはできていたが、二段落構成で文章を書くことができなかった。また、自分の意見と感想を区別して書くことができていないものもあった。	・国語の学習以外にも、目的に応じた新聞の形式や構成を再度理解させるとともに、記事に対する自分の考えと感想を持ちながら、読み手のことを考えた書き方の習熟を図っていく。